

当院で行っている研究へのご協力をお願い

腕から入れる点滴用カテーテル（ミッドラインカテーテル・PICC）の合併症についての研究

当院では、通常の診療で得られた記録（カルテ）を使わせていただく、下記の研究を行っています。研究のために新しく検査や治療を行うものではありません。内容をご確認のうえ、ご協力をお願いいたします。

研究課題名	診療看護師（NP）主導の Midline カテーテル（MC）・PICC 前向き比較研究
研究機関	青森県立中央病院（当院のみで実施する研究です）
研究責任者	診療看護師室／心臓血管外科 診療看護師 柳谷 和明
倫理審査	青森県立中央病院倫理審査委員会の承認を受けています（研究番号、承認日 年 月 日）
対象となる方	2026 年 9 月 1 日から 2027 年 2 月 28 日までの間に、入院中に当院の診療看護師（NP）がミッドラインカテーテルまたは PICC を入れた患者さん
研究期間	倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日まで（情報の収集は 2027 年 3 月 31 日まで）

ミッドラインカテーテルと PICC とは

どちらも腕の静脈から入れる細い点滴の管で、ふつうの点滴より長く使うことができます。PICC（ピック）は先端を心臓の近くの太い静脈まで進める管（中心静脈カテーテル）で、ミッドラインカテーテルは腕の中にとどまる、より短い管です。当院では、点滴が必要な期間やお薬の種類に応じて使い分けています。

この研究で調べること

当院の診療看護師（NP）が入れた 2 種類の管について、血のかたまり（血栓）、感染、管の詰まり、静脈炎などのトラブルがどのくらい起きるかを比べ、患者さんにとってより安全な管の選び方を明らかにします。管を入れるかどうか、どちらを使うかは研究のためではなく、通常の診療として決めています。管を入れてから、抜いた後の診察（エコーでの血栓の確認を含む）までの記録を使います。倫理審査の承認日より前に管を入れた方については、すでにカルテにある情報を使わせていただきます。入院中に他の病院へ移られた方や亡くなられた方も、それまでの情報を使わせていただきます。

使わせていただく情報

年齢、性別、身長・体重、入院している診療科、病名、持病、使用中のお薬、栄養のとり方、血液検査の結果（アルブミン、D-ダイマー、血小板数、白血球数）、管を入れた理由・部位・血管の太さ・使用した製品・管の長さとお本数、血管の確保の難しさの評価、針を刺した回数・要した時間・担当した職員・場所、入れた直後と抜いた後の所見、ほかに入っている点滴などの管の有無、管からの採血の有無と回数、入れた日・抜いた日・抜いた理由、トラブルの有無などの、診療の記録に残っている情報です。抜いた後の診察でお部屋に伺うために患者 ID・お名前・病室も使いますが、解析のときには記号に置き換えます。新たな検査や薬の使用はなく、体への負担や追加の費用は一切ありません。

個人情報の取り扱いと結果の公表

情報を研究に使うのは、当院の研究責任者と研究分担者（診療看護師室、心臓血管外科、救急科、医療安全管理センター、「医療の質」総合管理センターの職員）に限ります。他の機関へ提供することはありません。結果は学会や医学雑誌で発表しますが、個人が特定される形で公表することはありません。

研究に使ってほしくない場合（協力を断ることができます）

ご本人またはご家族で、情報をこの研究に使ってほしくない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出により、診療上の不利益を受けることは一切ありません。なお、すでに発表された後は、情報を取り除くことができない場合があります。研究の計画や方法についての資料をご覧になりたい場合も、他の方の個人情報の保護や研究の実施に支障がない範囲でお示しします。

お問い合わせ・お申し出先

青森県立中央病院 診療看護師室 研究責任者 柳谷 和明

〒030-8553 青森県青森市東造道 2 丁目 1-1 電話 017-726-8111（代表） 受付時間：平日 9 時～16 時

（お電話の際は「ミッドラインカテーテルと PICC の研究について」とお伝えください）

掲載日： 年 月 日